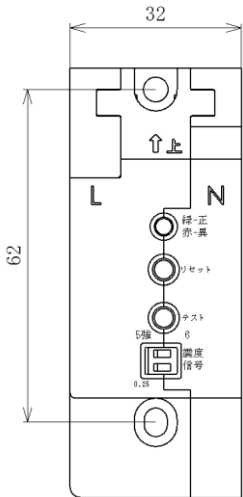


感震センサー

HKIA002-B

施工説明書



- 施工前に必ずこの説明書をお読みのうえ、正しく施工してください。
- 施工前に必ず使用可否を確認してください。
※使用不可の場合は弊社標準タイプHKIA002-Aの使用をおすすめします。
- 施工は電気工事士の有資格者が行ってください。
- この商品は旧型（黒色分岐ブレーカーの）分電盤専用センサーです。
- 施工後は下のお問い合わせ先の欄に連絡先などをご記入のうえ、この説明書を必ず取扱者様にお渡し下さい。

安全上のご注意

⚠ 禁止



- ・製品の組立用ネジはゆるめないこと。
(故障・感電の原因になります)

⚠ 注意



- ・弱電回路や端子間の絶縁抵抗測定はしない。
(機器の故障による感電・発熱・発火の原因になります)

～施工上のご注意～

- この商品は、分電盤下段側に取付方向(↑上)の指定と合わせて取付けてください。
- この商品は主幹ブレーカーが漏電ブレーカーでないとは作動しません。

〔お問い合わせ先〕

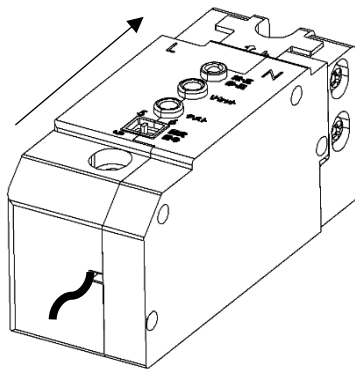
取扱店



ケー・アイ技術株式会社

〒515-2401 三重県松阪市釜生田町367-1

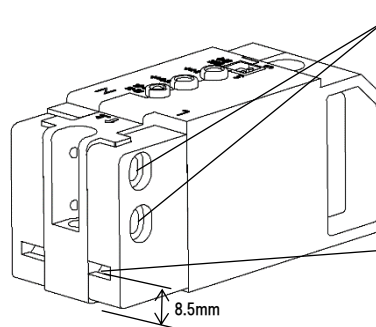
本体取付け・取外し



・住宅分電盤取付面に対して水平に奥まで差込んで下さい。

・差込み後、本体上下部をネジでとめる。(片側しかない場合は1本でもOK)

・取外しの際は、ネジを外してから本体を取り外す。



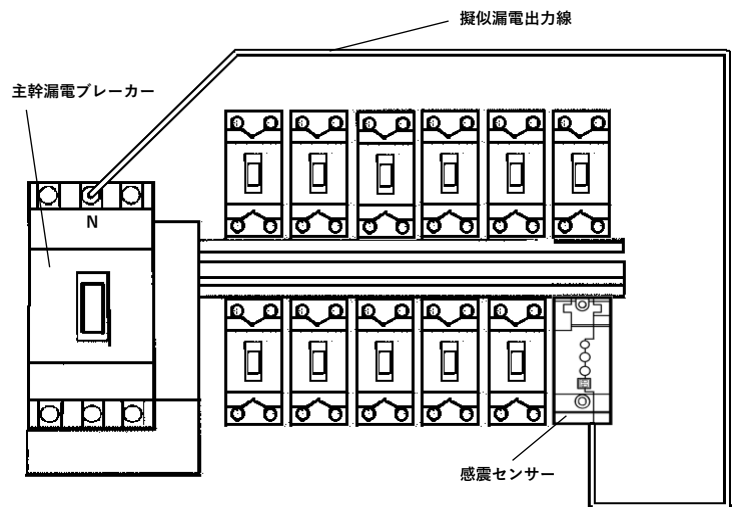
・端子差込口の位置が合わず差込みが困難な場合は、ネジをゆるめると位置調整が出来ます。

・端子差込口
差込み可能な端子の厚みは0.8～1.5mmまで使用可。

※旧型分電盤のターミナルは差込み方式に対応していない為、センサー差込みの際に変形・破損の恐れがあります。センサーの差込みはターミナルが変形しない様に慎重に実施してください。センサー差込みが困難な場合は即座に中止してください。(その際は、標準感震センサーHKIA002-Aの使用をおすすめします)

配線のしかた

図を参考のうえ、疑似漏電出力線を主幹漏電ブレーカーの1次側(N相)に接続してください。(アースでも可)



※取付け方向はこの図の方向のみ可。
(L相、N相に注意)

取扱い説明

感震時の動作

- ① 設定震度の地震を感知すると、LEDが赤色点滅になり避難等の行動を促し、3分後に漏電ブレーカーを遮断します。その後、再起動時にもう一度漏電ブレーカーを遮断します。
- ② 設定震度の地震を感知し、その後3分以内に停電が発生した場合は復電時に漏電ブレーカーを遮断します。
- ③ 正常状態時に停電した場合は、感震センサーは復電時に正常状態に復帰します。
- ④ 復電時もしくは電源投入時に家屋が30度相当以上傾いていた場合、約10秒後に漏電ブレーカーを遮断して通電火災を防ぎます。
※このはたらきを無効にするには擬似漏電出力線を外す必要があります。
- ⑤ リセットボタンの操作により、正常状態に移行します。
 - ・地震感知後の遮断待機中にリセットボタンを押すと、正常状態に移行します。
 - ・正常状態時にリセットボタンを押すと初期化し、元の正常状態に戻ります。

⑥地震を感知してから手でブレーカーを遮断しても再起動時は必ず1回ブレーカーを自動で遮断します。

操作・動作確認テスト

テストボタンの操作により、本製品設置時に機能確認が出来ます。

- ・短押し(2秒未満)：LEDが赤色点滅しますが、漏電ブレーカーは不動作。リセットボタンで正常状態に戻ります。
- ・長押し(2秒以上)：すぐに漏電ブレーカーを遮断します。

※この作業は必ず実施すること。

- ・地震感知後の遮断待機時間中にテストボタンを押しても無視されます。

注記

漏電ブレーカー(電源)投入時に初期設定が正常にセッティングできない場合は、異常信号(LEDが赤く高速点滅)を出します。この場合は以下の方法でセッティングし直してください。

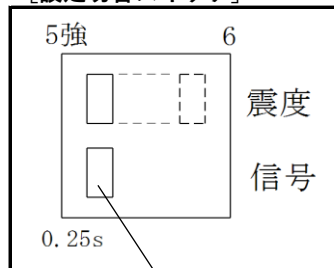
<異常信号検出後に漏電ブレーカーが落ちた場合>
漏電ブレーカーの電源がOFF状態のまま20秒以上待ち、その後漏電ブレーカーの電源を再投入する。

<異常信号検出後に漏電ブレーカーが落ちなかった場合>
漏電ブレーカーの電源をOFFにして20秒以上待ち、その後漏電ブレーカーの電源を再投入する。

仕様

品番	HKIA002-B
定格電圧	AC100V 50/60Hz
適応相線式	単相3線式
適応主幹ブレーカー	漏電ブレーカー 高速形 30mA
地震感知	[震度設定] 震度5強設定 250gal 周期 0.3s・0.5s・0.7sにて動作 250gal 周期 0.1s 不動作 80gal 周期 0.3s・0.5s・0.7sにて不動作 震度6設定 計測震度6相当で地震感知(周期0.2s~1.0s)
設定切替スイッチ ※下図参照	[遮断信号] ・擬似漏電電流値 50mA ・信号発振時間0.25s
地震感知時の報知	赤いLEDの点滅
傾き感知	停電中に地震が発生し、家屋が30°相当以上傾いた場合、電源復旧時10秒後に電源を遮断し通電火災を防ぎます。
設置場所	旧型住宅分電盤の空きスペース
テストボタン 最終テスト	設置後や場所変更時は必ずテストボタンを長押し(2秒以上)して漏電ブレーカーが遮断することを確認する。

[設定切替スイッチ]



信号は切替無し。スイッチは左側固定。